

第4次 東区地域福祉活動計画

令和元年度～令和5年度

— 概要版 —

～誰もが住みよいまちづくり～
ウエルカム東区！ つながり かかわり おもいやり



基本理念「誰もが住みよいまちづくり」

老若男女、障害の有無にかかわらず、東区に住む人、活動する人が、人権と人としての尊厳を尊重し、支えあい、誰もが参加できる地域社会をめざします。

もう少し具体的な5年後のイメージとして、学区ごとに、高齢化率などの状況や社会資源・担い手などにはばらつきがあることを踏まえ、すべての学区で、地域住民が主体的に、地域の困りごとの解決に取り組んでいるという姿をめざします。

おもてなしのあるまち

転入者や外国の人とも交流できるといいよね。
どんな人にもわかりやすい情報提供や表現できる場があるといいよね。

つながりのあるまち

東区で働く人、学生さんともつながりたいね。

支えあいの あるまち

ご近所どうしの支えあい、ボランティア活動が盛んになるといいな。



福祉を取り巻く現状と課題

- **人口減少と超少子高齢社会**

認知症高齢者の増加による意思決定支援や高齢者の移動が課題になっています

- **働き方改革**

長時間労働を見直し、暮らしや生活を考え直すきっかけに

- **AI(人工知能)、ICT(情報通信技術)の発展と生活の変化**

コミュニケーションの変化にともなうSNSによるいじめ、ネット依存の問題が発生

AI技術の発展による生活の変化

- **潜在的課題とその表出化**

増加する児童虐待、若者・中高年の引きこもりの問題、精神障害者の社会的入院の長期化、犯罪を犯した人の社会復帰に関する問題、LGBTに関することやハラスメントの問題など

【東区においては・・・】

名古屋市の中心にあり、交通機関や商業施設も充実しており、生活がしやすく、高校・大学が多く、日中は若者が多く活気があります。マンションの新築などにより、人口も年々増えています。区全体では、おおむね4人に1人は高齢者ですが、学区単位で見ると、ばらつきがあります。単独世帯が約半数を占め、生活保護世帯数も増えており、さまざまな福祉ニーズが埋もれている可能性があります。

基本理念

誰もが住みよいまちづくり

5年後の姿

すべての学区で、地域住民が主体的に地域の困りごとの解決に取り組んでいる

キャッチフレーズ

ウエルカム東区！ つながり かかわり おもいやり

目標	おもてなしのあるまち	つながりのあるまち	ささえあいのあるまち
対応策	<p>A 困っている人の声を聴こう</p> <p>E 仕事をしている人とつながろう</p>	<p>B 困っている人と一緒に解決しよう</p> <p>F 表現する場と機会をつくろう</p>	<p>C できることから始めてみよう</p> <p>G わかりやすく情報を伝えよう</p> <p>D 「福祉活動をしたい」を応援しよう</p> <p>H 趣味を生かしてふくし活動しよう</p>
実施項目	<p>1 身近なところでニーズをすくう（掬う、救う）仕組みをつくりま す A B C D E H</p> <p>2 楽しみながら社会貢献できる仕組みをつくりま す C E G</p> <p>3 はじめの一步を後押ししま す B C D</p> <p>4 男性の福祉活動を応援しま す D</p> <p>5 学生の福祉活動を応援しま す D</p>		<p>6 仕事をしている人とのつながりをつくりま す E</p> <p>7 ボランティアや地域活動を表現できる機会をつくりま す B D E F H</p> <p>8 住民目線の情報提供をしま す B C D E F G H</p> <p>9 みんなの福祉活動を応援する財源を確保しま す（全部）</p> <p>10 ウエルカム東区！誰もが気軽に参加できる機会をつくりま す A B C F</p>

A 困っている人の声を聴こう

社会の状況は目まぐるしく変化します。地域にどのようなニーズがあるのかを知るには、常に困っている人の声を聴くことが欠かせません。一人ひとりの住民が、どんな人が困りごとを抱えているのか（高齢者、障害者、外国人、転入者の方など）、社会に参加したい、貢献したい、楽しみたいというニーズを聴き取ることを大切にします。

B 困っている人と一緒に解決しよう

困りごとを抱えた人（困っている人）だからといって、常に助けてもらう存在であるということではありません。困っている人にもできること、実現したいこと、また役割があり、支援する側、される側といった垣根を越えた双方向の助け合い、支えあいをめざします。

C できることから始めてみよう

地域福祉活動というと難しく聞こえますが、ご近所同士で挨拶を交わしたり、町内の大掃除に参加するといったことも大切な活動の一つです。なるべく身近なところで、気軽に、できることから始められることを大切にします。

D 「福祉活動をしたい」を応援しよう

「ボランティア活動をしたい!」、「社会に貢献したい!」、「困っている人を助けたい!」というみなさんの自発的な地域福祉活動を応援します。

E 仕事をしている人とつながろう

地域住民というと、地域に「住んでいる人」ととらえがちですが、地域で「仕事をしている人」も地域住民としてとらえ、つながっていく方法を検討していきます。また、地域で生活をしながら仕事をしているみなさん（喫茶店、お寺、美容室など）との仕事を通じた地域福祉活動への関わりの輪を広げることがめざします。

F 表現する場と機会をつくろう

みなさんの思いや活動を表現する場や機会をつくって、より多くの交流や、つながりができることをめざします。

G わかりやすく情報を伝えよう

外国人の方、障害のある方、お年寄り、子どもなど、どんな人にとってもわかりやすく情報を伝えることをめざします。

H 趣味を生かしてふくし活動しよう

自分の特技や趣味を生かしてふくし活動ができるようにします。

実施項目

実施項目 1 身近なところでニーズをすくう（掬う、救う）仕組みをつくりま

関連する対応策： **A B C D E H**

困っている人の話を聞き、ニーズを掬い、そのニーズを、困っている人といっしょに救う（解決する）仕組みをつくりま。寄せられた相談をもとに、専門職の協力を得ながら、一人の困りごとを地域全体の困りごととして共有（共感）する場を設け、困っている人も役割を持ち、住民同士で困りごとの解決に取り組めるようにしま。

実施項目 2 楽しみながら社会貢献できる仕組みをつくりま

関連する対応策： **C E G**

長年活動をしている方から、楽しいから続けられるという声をよく聞きます。大切なことであっても、苦勞が多くては長続きしませんし、仲間も増えていきません。一人ひとりが負担にならない程度の、楽しみながらできる社会貢献を考え、仕組みをつくりま。

実施項目 3 はじめの一步を後押ししま

関連する対応策： **B C D**

地域福祉活動に参加したい気持ちはあっても、どんな活動があるのか知らない、何から始めたら良いのかわからないという方もいます。気軽に活動に触れることができる機会を作り、みなさんのはじめの一步を後押ししま。

実施項目 4 男性の福祉活動を応援しま

関連する対応策： **D**

地域福祉活動に参加するのは、女性と高齢者が多いと言われていますが、より多くの皆さんに参加してもらうために、男性のみなさんが参加しやすい活動を企画・実施するとともに、頑張っ活動している男性の活動を支援しま。

実施項目 5 学生の福祉活動を応援しま

関連する対応策： **D**

東区は、多くの大学・高校・専門学校がある文教地区で、たくさんの学生、生徒が通っいて、課外活動も盛んに行われています。より多くのみなさんに参加してもらうために、学生のみなさんが参加しやすい地域福祉活動を企画・実施するとともに、頑張っ活動している学生の活動を支援しま。

実施項目 6 仕事をしている人とのつながりをつくります

関連する対応策： **E**

地域住民というと、地域に「住んでいる人」ととらえがちですが、地域で「仕事をしている人」も地域住民としてとらえ、地域に根差した仕事をしているみなさんにつながる機会をつくり、地域福祉活動に参加してもらえるよう働きかけます。

実施項目 7 ボランティアや地域活動を表現できる機会をつくります

関連する対応策： **B D E F H**

せっかくよい活動をしていても、周りに知られていないために、活動が広がらないことがあります。イベント的なものだけでなく、さまざまな機会を通じてボランティアや地域活動を表現できる場をつくり、活動を多くの人に知ってもらい、活動している人たち同志の交流や新たな出会い、発見を促します。

実施項目 8 住民目線の情報提供をします

関連する対応策： **B C D E F G H**

情報を得る手段は、口コミ、紙媒体、インターネットなど多岐にわたっています。情報を受け取る相手のことを考えて媒体、表現などを検討し、情報が必要な人に届くようにします。

実施項目 9 みんなの福祉活動を応援する財源を確保します

関連する対応策： **D**

住民のみなさんが自主的に行う福祉活動を支える財源としては、赤い羽根共同募金の配分金が活用されていますが、年々実績が減っていて、このままでは必要な財源が確保できず、これまで続けてきた行事や事業ができなくなる恐れがあります。共同募金運動の趣旨や配分金の用途をよく知ってもらい、多くのみなさんに運動に参加してもらえるよう呼びかけます。

実施項目 10 ウエルカム東区！誰もが気軽に参加できる機会をつくります

関連する対応策： **A B C F**

東区ではマンションの新築などにより人口が増えていて、転入者の方、外国人の方も多くなりました。「おもてなし」の気持ちをもって、新しく住民になったみなさんと交流できる機会をつくり、「つながり」「ささえあい」のきっかけをつくります。

みんつく(みんなでつくろうわがまちひがし)による 推進と評価

各年度にどの実施項目をいつ、どこまで実施するかというところまでは計画策定段階では決めずに、社協の事業計画などとも整合性を取りながら、各年度、どの事業に取り組むべきかをその都度確認し合いながら推進、評価をしていきます。

年に2回程度、みんつくメンバー、学識経験者、事務局で推進・評価に関する会議を開催し、年度始めに1年間で取り組む事項を決め、年度末に、活動報告と活動のふりかえりとともに、評価を行います。評価にあたっては、みんつくメンバーによるふりかえり（自己評価）、当事者による評価（イベントであれば、イベント参加者のアンケートなど）、学識経験者や関係者による評価（第三者評価）など、数字で示せるところは数字で示しつつ、可能な限り多面的で質的、記述的な評価を行います。

みんつくメンバー大募集！

東区内に在住、在学、在勤（仕事をしている）方で、活動計画に興味・関心がある方、一緒に活動してみたいという方は、ぜひ社会福祉協議会までお問い合わせください。

社会福祉法人 名古屋市東区社会福祉協議会

〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目28番5号 高岳げんき館

電話 932-8204 FAX 932-9311

H P <http://www.higashi-fukushi.com/>

E-MAIL higashiVC@nagoya-shakyo.or.jp

Twitterで 最新情報をチェック！

区内の地域活動やイベントなど楽しい情報をお届けします。
東区社協のホームページから、ぜひご覧ください！

※右のQRコードを読み込んでみてね！

